



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 ヤギ

上場取引所 東

コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 八木 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山岡 一朗

TEL 06-6266-7302

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	62,460	2.9	2,472	105.0	2,635	81.3	1,776	162.6
2023年3月期第3四半期	64,358	9.2	1,206	18.2	1,453	0.8	676	37.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,866百万円 (816.5%) 2023年3月期第3四半期 312百万円 (62.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	213.73	
2023年3月期第3四半期	81.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	74,434	38,786	52.1
2023年3月期	73,027	36,276	49.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 38,786百万円 2023年3月期 36,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		48.00	48.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.4	2,770	42.5	3,000	53.6	1,960	93.3	235.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	9,140,000 株	2023年3月期	9,140,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	802,316 株	2023年3月期	844,872 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	8,312,581 株	2023年3月期3Q	8,328,635 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託(RS信託)が保有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年11月10日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し個人消費やインバウンド需要に回復の兆しが見られました。一方で、エネルギー価格の高止まり、それに伴う原材料価格や物流価格の高騰、急速な円安の進行により利益確保が難しい経営環境で推移しました。また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中近東情勢の緊迫化などにより世界的な景気後退が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような厳しい経営環境のもと、2026年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画2026「Heritage to the future」に基づき、持続的成長の基盤づくりに注力し、「事業」「グローバル」「グループ経営」「人材」「ESG」の5つを基本戦略として取り組んでおります。

基本戦略の概要は下表のとおりです。

基本戦略	中期経営計画2026「Heritage to the future」
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・セグメントグループでの収益力強化 ・ポートフォリオでの選択と集中
グローバル	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開
グループ経営	<ul style="list-style-type: none"> ・グループマネジメントの進化 ・グループ内のDX基盤の構築
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ人材や組織制度の連携強化 ・人材活性化環境の整備
ESG	<ul style="list-style-type: none"> ・CSV経営の実践 ・コーポレートガバナンスの強化

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は62,460百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は2,472百万円（前年同期比105.0%増）、経常利益は2,635百万円（前年同期比81.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,776百万円（前年同期比162.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「マテリアル事業」「アパレル事業」「ブランド・ライフスタイル事業」「不動産事業」の4セグメントから、「マテリアル事業」「ライフスタイル事業」「アパレル事業」「ブランド・リテール事業」「不動産事業」の5セグメントに変更しております。このため、前第3四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。詳細は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

①マテリアル事業

合成繊維は、コスト上昇分の価格転嫁が進まず苦戦を強いられましたが、車両用途の商材は比較的堅調に推移しました。天然繊維は、オーガニック糸が堅調に推移し、汎用糸においても相場が徐々に安定してきました。一方で、為替に翻弄され値決めが難しく、また産地の冷え込みもあり需要は落ち込みました。また、ニット生地は暖冬の影響で秋冬物は低調に推移しましたが、春夏物の商談は活発に進捗しており、先行きに明るさが見られております。

この結果、売上高は18,918百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益（経常利益）は408百万円（前年同期比43.0%減）となりました。

②ライフスタイル事業

ダストコントロール商材や寝装資材、スポーツ関連商材等の生活資材を扱う当事業では、コロナ禍での衛生意識の高まりにより清掃関連商材が堅調で、また消費意欲の回復とともに、スポーツイベント等の増加でタオルなどの生活雑貨やスポーツ関連商材の販売に明るさが見られました。化粧雑貨に関する事業については、インバウンド需要の回復もあり堅調に推移しました。一方で、一部のダストコントロール商材で新製品の供給が一巡したことによる生産調整が影響し苦戦を強いられました。

この結果、売上高は6,446百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益（経常利益）は539百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

③アパレル事業

コロナ禍の影響が徐々に収まり、ファッション市場でもインバウンド需要を含む消費意欲が回復基調となりましたが、秋冬物が中心となる当第3四半期は、暖冬の影響を受け苦戦を強いられております。このような状況のもと、様々な要因によるコスト上昇や人手不足に伴う人件費の上昇機運によりアパレル・小売り等では、販売価格の引き上げに動き、当事業でも一部で価格転嫁が進みつつあります。さらに不採算事業を見直し、経費の圧縮、商圏の洗い直し等を行うことにより一定の成果を得ることができました。

この結果、売上高は32,156百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益（経常利益）は2,056百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

④ブランド・リテール事業

インバウンド需要の回復に加え夏物商材への取り組みが奏功し、当第3四半期連結累計期間の前半は端境期ながら比較的好調に推移しました。後半は暖冬の影響を受け全般的に失速気味となりましたが、ブランディング強化により、主力のダウンジャケットの販売では暖冬の影響も限定的なものに抑えることができ収益に大きく貢献しました。

この結果、売上高は5,932百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益（経常利益）は444百万円（前年同期は197百万円のセグメント損失）となりました。

⑤不動産事業

賃貸事業においてコロナ禍の影響が徐々に収まり一定の回復が見られましたが、前年同期のコロナワクチン大規模接種会場の賃貸契約の終了が収益に大きく影響しました。

この結果、売上高は582百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益（経常利益）は237百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、56,596百万円となりました。これは、電子記録債権が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,263百万円増加し、17,837百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2,429百万円減少し、25,564百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,325百万円増加し、10,082百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,510百万円増加し、38,786百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,776百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想（2023年11月10日に公表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,979,744	6,198,571
受取手形及び売掛金	23,534,040	25,655,161
電子記録債権	9,566,551	13,258,703
棚卸資産	10,414,597	9,992,999
その他	2,298,937	1,859,836
貸倒引当金	△340,994	△368,670
流動資産合計	56,452,877	56,596,603
固定資産		
有形固定資産	4,897,998	5,089,328
無形固定資産		
のれん	180,796	90,398
その他	660,546	630,068
無形固定資産合計	841,342	720,466
投資その他の資産		
投資有価証券	7,384,905	8,001,680
その他	4,915,284	4,929,303
貸倒引当金	△1,465,290	△903,274
投資その他の資産合計	10,834,900	12,027,709
固定資産合計	16,574,241	17,837,504
資産合計	73,027,118	74,434,107
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,628,625	9,126,486
電子記録債務	2,148,008	2,261,312
短期借入金	4,433,176	7,488,000
1年内返済予定の長期借入金	3,200,000	—
未払法人税等	1,195,314	327,318
賞与引当金	559,305	432,583
その他の引当金	80,149	27,446
その他	5,749,379	5,901,576
流動負債合計	27,993,959	25,564,723
固定負債		
長期借入金	6,400,000	7,600,000
繰延税金負債	89,480	214,783
引当金	11,317	13,825
退職給付に係る負債	1,081,214	1,043,317
その他	1,174,543	1,210,477
固定負債合計	8,756,556	10,082,403
負債合計	36,750,515	35,647,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	34,473	58,495
利益剰余金	34,224,834	35,589,292
自己株式	△719,972	△683,771
株主資本合計	34,627,335	36,052,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001,153	2,720,488
繰延ヘッジ損益	△272,695	△299,383
為替換算調整勘定	159,864	435,146
退職給付に係る調整累計額	△239,054	△121,288
その他の包括利益累計額合計	1,649,267	2,734,964
純資産合計	36,276,603	38,786,981
負債純資産合計	73,027,118	74,434,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	64,358,142	62,460,443
売上原価	50,751,654	46,709,536
売上総利益	13,606,487	15,750,907
販売費及び一般管理費	12,400,397	13,278,199
営業利益	1,206,089	2,472,707
営業外収益		
受取利息	7,761	9,311
受取配当金	182,171	200,343
為替差益	177,330	21,810
その他	147,893	154,890
営業外収益合計	515,157	386,356
営業外費用		
支払利息	30,614	34,966
貸倒引当金繰入額	66,091	—
持分法による投資損失	137,296	166,443
その他	33,815	22,217
営業外費用合計	267,817	223,626
経常利益	1,453,429	2,635,437
特別利益		
投資有価証券売却益	—	159,340
固定資産売却益	22,702	—
債務免除益	13,469	—
特別利益合計	36,172	159,340
特別損失		
投資有価証券評価損	—	29,999
子会社株式売却損	153,750	—
和解金	—	26,242
特別損失合計	153,750	56,242
税金等調整前四半期純利益	1,335,851	2,738,535
法人税等	728,113	961,861
四半期純利益	607,738	1,776,674
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,826	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	676,564	1,776,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	607,738	1,776,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	420,376	707,013
繰延ヘッジ損益	△1,133,617	△26,687
為替換算調整勘定	134,066	196,670
退職給付に係る調整額	156,999	117,766
持分法適用会社に対する持分相当額	127,203	94,979
その他の包括利益合計	△294,971	1,089,741
四半期包括利益	312,766	2,866,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,953	2,866,415
非支配株主に係る四半期包括利益	△68,186	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	マテリアル 事業	ライフスタイル 事業	アパレル 事業	ブランド・ リテール事業	不動産事業	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	21,042,595	6,763,098	30,559,924	5,570,572	—	63,936,190	—	63,936,190
その他の収益	—	—	—	—	421,951	421,951	—	421,951
外部顧客への売上高	21,042,595	6,763,098	30,559,924	5,570,572	421,951	64,358,142	—	64,358,142
セグメント間の内部 売上高または振替高	776,271	61,406	1,012,276	8,953	172,908	2,031,815	△2,031,815	—
計	21,818,866	6,824,504	31,572,200	5,579,525	594,860	66,389,958	△2,031,815	64,358,142
セグメント利益または 損失(△)	716,665	565,294	1,212,941	△197,105	357,500	2,655,297	△1,201,867	1,453,429

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益または損失(△)及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	ライフスタイル 事業	アパレル 事業	ブランド・ リテール事業	不動産事業	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	18,147,398	6,409,186	31,543,201	5,933,260	—	62,033,047	—	62,033,047
その他の収益	—	—	—	—	427,396	427,396	—	427,396
外部顧客への売上高	18,147,398	6,409,186	31,543,201	5,933,260	427,396	62,460,443	—	62,460,443
セグメント間の内部 売上高または振替高	771,062	37,365	613,226	△272	155,477	1,576,858	△1,576,858	—
計	18,918,461	6,446,552	32,156,427	5,932,987	582,873	64,037,302	△1,576,858	62,460,443
セグメント利益	408,297	539,726	2,056,342	444,398	237,761	3,686,526	△1,051,088	2,635,437

- (注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 報告セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2021年3月期から前連結会計年度（2023年3月期）までセグメント情報における報告セグメントを「マテリアル事業」「アパレル事業」「ブランド・ライフスタイル事業」「不動産事業」としておりました。2023年5月12日に公表いたしました中期経営計画2026「Heritage to the future」を開始するに当たり、これまでの「ブランド・ライフスタイル事業」を新たに「ライフスタイル事業」と「ブランド・リテール事業」の2つの報告セグメントに区分することにいたしました。これに伴い第1四半期連結会計期間から「マテリアル事業」「ライフスタイル事業」「アパレル事業」「ブランド・リテール事業」及び「不動産事業」の5つの報告セグメントに変更することにいたしました。

市場・顧客ニーズの変化に対応するため、上記5つの報告セグメント体制に改め、更なる収益性の向上と持続的成長を目指しております。また、グループ企業を横断した事業セグメントをサステナブル・デジタル・グローバルの視点で強化することも目的としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。